

No.	016	—	3003	事務事業名	農業集落排水使用料及び分担金徴収事務	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	9年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(2) 農業集落排水施設の適正管理				
	事業の対象	下水道使用者・下水道受益者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとともに、徴収率を高めます。				今年度						
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳へ登録を行います。				④						
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		使用料現年分収納率		収納額/調定額		%	目標 98	98	98	100			
					実績 98	98							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	農業集落排水特別会計		費目名	運営管理		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,028千円	1,018千円	1,103千円								
	計(A)	1,028千円	1,018千円	1,103千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.012人 72千円	0.012人 73千円	0.012人 73千円								
臨時職員工数・経費		0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円									
全体事業費(A+B)		1,100千円		1,091千円		1,176千円							
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。												
有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。												
達成度	現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。												
効率性	現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収を行うことにより事務の効率化を図っています。												
当面の課題	公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努める必要があります。												
改革計画	現年度の徴収について、水道課との連携をしながら早期に対応し、未納者の解消に努めます。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	公平性を保つためにも、引き続き徴収率の向上に努めて下さい。												

No.	016	—	3004	事務事業名	下水道使用料、賦課徴収及び負担金関連事務			細事務事業名				公的関与	3	
PLAN	課名	下水道課		係名	管理係		電話番号	089-964-4417		メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当		事業期間	13年度～年度 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	4 下水道等の整備			主要施策	(5) 下水道事業の健全運営			
	事業の対象	下水道使用者・下水道受益者					根拠法令	下水道法						
	事業の目的	最終的	下水道使用料及び受益者負担金を適正に賦課するとともに、徴収率を高めます。					今年度						
	活動内容	①	使用開始届に基づき、下水道台帳へ登録を行います。					④	土地所有者へ申告書を送付し、受益者を確認します。					
		②	検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。					⑤	受益者に対して受益者負担金の徴収を行います。					
		③	新規供用開始区域について、賦課区域の公告を行います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		使用料現年分収納率	収納額／調定額			%	目標	98	98	98	100			
			実績	98	98									
負担金現年分収納率		収納額／調定額			%	目標	96	96	96	100				
				実績		98	98							
DO	予算費目	会計	公共下水道特別会計			費目名	公共下水道事業			費				
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考								
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円							
		地方債	0千円		0千円		0千円							
		その他特定財源	1,399千円		763千円		772千円							
		一般財源	7,634千円		7,598千円		8,064千円							
	計(A)	9,033千円		8,361千円		8,836千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.981人	5,924千円	0.981人	5,934千円	0.981人	5,978千円						
臨時職員工数・経費		0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
全体事業費(A+B)	14,957千円		14,295千円		14,814千円									
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。													
有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。													
達成度	現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。													
効率性	現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収を行うことにより事務の効率化を図っています。													
当面の課題	公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努める必要があります。													
改革計画	現年度の徴収について、水道課との連携をしながら早期に対応し、未納者の解消に努めます。													
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	公平性を保つことから、引き続き徴収率の向上に努めて下さい。													

No.	016	—	3020	事務事業名	下水道施設維持管理事業	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	下水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4417	メールアドレス	gesuido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	12年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	4 下水道等の整備		主要施策	(5) 下水道事業の健全運営				
	事業の対象	公共下水道施設				根拠法令	下水道法						
	事業の目的	最終的	適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を行います。				今年度						
	活動内容	①	公共下水道施設(処理場2箇所・マンホールポンプ場11箇所)の維持管理事務				④	緊急対応及び施設点検					
		②	汚泥処理に関する事務				⑤	調査・報告・届出関係事務					
		③	機器の維持修繕に関する事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標		
		水質(川内浄化センター) BOD(生物化学的酸素要求量)	処理場の設計や維持管理に用いられる水質項目で、水の汚濁状態を表す。			mg/l	目標	15	15	15	15		
実績					2	3							
水質(重信浄化センター) BOD(生物化学的酸素要求量)		処理場の設計や維持管理に用いられる水質項目で、水の汚濁状態を表す。			mg/l	目標	15	15	15	15			
		実績					2	3					
実績													
ODO	予算費目	会計	公共下水道特別会計			費目名	公共下水道事業						
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	128,713千円	139,511千円	173,163千円								
		計(A)	128,713千円	139,511千円	173,163千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.378人 2,283千円	0.352人 2,129千円	0.352人 2,145千円								
		臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円								
	全体事業費(A+B)		130,996千円	141,640千円	175,308千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	公共用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。												
有効性	民間委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。												
達成度	適正に維持管理を行い、適正に汚水を処理し、放流水の水質が良好な状態に保たれています。												
効率性	委託できるものについて民間委託を行っており、現在、維持管理事務について最小限の人員で行っています。将来は、維持管理の増加に伴い見直す必要があると思われます。												
当面の課題	事業の完了後(運転開始)10年以上経過している施設もあるため、施設の計画的なメンテナンス、維持管理が今後の課題となります。												
改革計画	日常の維持管理において異常の早期発見に努め、緊急時に迅速かつ的確に復旧に向けて対応できる組織を維持します。また、放流水質を良好に保ち、快適な生活環境を提供するため、緊急時の迅速な対応・事故故障等の未然防止を図ります。												
二次評価者	下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	健全な施設管理を行うことは、安全、安心な生活環境の維持に不可欠です。今後とも、危機管理体制の充実を図り、施設のメンテナンス等を計画的に行い、水質保全に努めて下さい。												